



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場会社名 株式会社加藤製作所 上場取引所 東
コード番号 6390 URL <http://www.kato-works.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 公康
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務統括部長 (氏名) 柳原 秀匡 (TEL) 03-3458-1130
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	13,076	11.9	190	—	814	566.0	631	487.4
2023年3月期第1四半期	11,685	△20.4	△320	—	122	—	107	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,022百万円(11.5%) 2023年3月期第1四半期 916百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第1四半期	53	90	—	—
2023年3月期第1四半期	9	18	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	99,499	46,950	46.0
2023年3月期	98,799	46,906	46.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 45,725百万円 2023年3月期 45,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
	銭	銭	銭	銭	銭
2023年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	60,000	4.3	1,200	△4.7	900	△51.8	2,000	△16.8	170.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	11,743,587株	2023年3月期	11,743,587株
2024年3月期1Q	26,552株	2023年3月期	26,508株
2024年3月期1Q	11,717,046株	2023年3月期1Q	11,717,221株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行され、インバウンドを含む人流の回復等により経済活動が好転した一方で、ウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格の高騰や電力料金の値上げなどを主としたインフレの高止まりにより、依然として景気の先行きは不透明な状況が続きました。

一方、欧米諸国では高いインフレ率を受けての金融引き締め政策が継続、中国ではゼロコロナ政策の解除により旅行や外食などのサービス需要は回復したものの不動産市況は未だ低迷しており、当社の海外主要市場における経済情勢も不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社グループでは前期から推進している3ヵ年の中期経営計画のテーマである『スリムで骨太体質への変革』のもと、基本方針である「収益性改善・強化」「財務体質の改善」「将来の基盤構築」に取り組んできました。

結果として、当第1四半期連結累計期間の売上高は、130億7千6百万円(前年同期比111.9%)、営業利益は1億9千万円(前年同期は営業損失3億2千万円)、経常利益は8億1千4百万円(前年同期比666.0%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億3千1百万円(前年同期比587.4%)となり、中期経営計画で進めてきた収益改善に対する各種施策の効果が発現してきたこともあり、営業利益の黒字化が定着してきております。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、セグメント利益及び報告セグメントを変更しており、前第1四半期連結累計期間との比較分析にあたっては、変更後のセグメント利益及び報告セグメントに基づく数値を用いております。詳細は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

① 日本

建設用クレーンの国内売上高は61億9千5百万円(前年同期比98.2%)と前期並みに推移した一方、海外向けはアジア地域における大口販売があり、15億1千7百万円(前年同期比221.9%)となりました。

油圧ショベル等の国内売上高は14億8千2百万円(前年同期比80.6%)と減収となった一方、海外向けは販売施策の徹底や為替変動により、19億3千6百万円(前年同期比179.4%)となりました。

以上を含めた日本の売上高は113億2千2百万円(前年同期比111.4%)となり、セグメント利益は3億5千4百万円(前年同期はセグメント損失3億1千7百万円)となりました。

② 中国

中国は、インフラ投資鈍化や地場メーカーの販売攻勢により厳しい販売環境が継続しており、売上高は6億2千7百万円(前年同期比88.4%)、セグメント損失は2億7千2百万円(前年同期はセグメント損失1億1千8百万円)となりました。

③ 欧州

欧州地域は堅調な需要に支えられ、売上高は15億1千6百万円(前年同期比154.3%)、セグメント利益は2千1百万円(前年同期はセグメント利益3百万円)となりました。

④ その他

その他地域は、欧州セグメントを分離したことにより売上高は0となり、セグメント損失は1千7百万円となりました。

主要品目別売上高の状況は次のとおりであります。

① 建設用クレーン

国内売上高は61億9千5百万円(前年同期比98.2%)、海外売上高は16億2千9百万円(前年同期比203.5%)となりました。よって、建設用クレーンの売上高は78億2千5百万円(前年同期比110.1%)となりました。

② 油圧ショベル等

国内売上高は14億8千2百万円(前年同期比80.6%)、海外売上高は35億7千8百万円(前年同期比144.2%)となり、油圧ショベル等の売上高は50億6千万円(前年同期比117.1%)となりました。

③ その他

その他製品の売上高は1億9千万円(前年同期比74.4%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末の987億9千9百万円に比べて7億円増加し、994億9千9百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加19億1千5百万円、棚卸資産の増加12億3千3百万円と、受取手形及び売掛金の減少29億6千6百万円によるものであります。

(負債の状況)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末の518億9千3百万円に比べ6億5千6百万円増加し、525億4千9百万円となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金の増加24億3千4百万円、流動負債のその他に含まれる未払費用の増加5億7千8百万円、電子記録債務の増加5億5千7百万円、支払手形及び買掛金の増加3億1千3百万円と長期借入金の減少35億7千万円によるものであります。

(純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末の469億6百万円に比べ4千3百万円増加し、469億5千万円となりました。これは主として為替換算調整勘定の増加3億6千1百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました、通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,977	21,892
受取手形及び売掛金	25,060	22,094
棚卸資産	31,583	32,816
その他	1,399	1,893
貸倒引当金	△2,348	△2,437
流動資産合計	75,672	76,259
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,995	9,861
機械装置及び運搬具（純額）	2,006	1,934
土地	6,186	6,210
建設仮勘定	43	115
その他（純額）	899	875
有形固定資産合計	19,131	18,997
無形固定資産		
414		484
投資その他の資産		
投資有価証券	2,274	2,347
破産更生債権等	9,554	9,810
繰延税金資産	350	346
その他	954	1,062
貸倒引当金	△9,553	△9,809
投資その他の資産合計	3,580	3,759
固定資産合計	23,126	23,240
資産合計	98,799	99,499

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,425	5,738
電子記録債務	8,517	9,074
短期借入金	9,850	9,761
1年内償還予定の社債	524	524
1年内返済予定の長期借入金	7,826	10,260
未払法人税等	121	83
賞与引当金	570	284
製品保証引当金	959	949
その他	1,865	3,436
流動負債合計	35,660	40,113
固定負債		
社債	2,564	2,374
長期借入金	12,232	8,661
退職給付に係る負債	300	279
繰延税金負債	324	389
その他	811	732
固定負債合計	16,232	12,435
負債合計	51,893	52,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	7,109	7,109
利益剰余金	30,781	30,434
自己株式	△39	△39
株主資本合計	40,788	40,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	81
為替換算調整勘定	4,810	5,171
退職給付に係る調整累計額	27	32
その他の包括利益累計額合計	4,901	5,285
非支配株主持分	1,216	1,224
純資産合計	46,906	46,950
負債純資産合計	98,799	99,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	11,685	13,076
売上原価	10,087	10,749
売上総利益	1,598	2,327
販売費及び一般管理費	1,919	2,137
営業利益又は営業損失(△)	△320	190
営業外収益		
受取利息	9	7
割賦販売受取利息	10	8
受取配当金	10	13
持分法による投資利益	29	26
為替差益	396	400
受取賃貸料	58	116
製品保証引当金戻入額	23	74
その他	55	152
営業外収益合計	595	799
営業外費用		
賃貸費用	73	91
支払利息	75	79
その他	2	3
営業外費用合計	152	175
経常利益	122	814
税金等調整前四半期純利益	122	814
法人税、住民税及び事業税	△0	55
法人税等調整額	16	136
法人税等合計	15	191
四半期純利益	107	622
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△8
親会社株主に帰属する四半期純利益	107	631

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	107	622
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	16
為替換算調整勘定	799	377
退職給付に係る調整額	11	4
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	809	399
四半期包括利益	916	1,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	844	1,015
非支配株主に係る四半期包括利益	72	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	中国	欧州	その他 (注)1			
売上高							
建設用クレーン	6,978	—	—	131	7,109	—	7,109
油圧ショベル等	2,640	709	970	—	4,320	—	4,320
その他	256	—	—	—	256	—	256
顧客との契約から生じる収益	9,874	709	970	131	11,685	—	11,685
外部顧客への売上高	9,874	709	970	131	11,685	—	11,685
セグメント間の内部 売上高又は振替高	292	—	11	13	318	△318	—
計	10,167	709	982	144	12,004	△318	11,685
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△317	△118	3	△31	△463	143	△320

(注) 1 タイ、アメリカを含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額にはセグメント間取引消去61百万円及びセグメント間未実現利益消去81百万円が含まれております。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	日本	中国	欧州 (注)1	その他 (注)2			
売上高							
建設用クレーン	7,713	—	112	—	7,825	—	7,825
油圧ショベル等	3,050	623	1,386	—	5,060	—	5,060
その他	190	—	—	—	190	—	190
顧客との契約から生じる収益	10,954	623	1,498	—	13,076	—	13,076
外部顧客への売上高	10,954	623	1,498	—	13,076	—	13,076
セグメント間の内部 売上高又は振替高	368	3	17	—	389	△389	—
計	11,322	627	1,516	—	13,465	△389	13,076
セグメント利益又は セグメント損失(△)	354	△272	21	△17	86	103	190

- (注) 1 当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「欧州」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法へ変更しております。前第1四半期連結累計期間の「顧客との契約から生じる収益を分解した情報」は、変更後の区分に基づき作成したものを記載しております。
- 2 タイ、アメリカを含んでおります。
- 3 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額にはセグメント間取引消去65百万円及びセグメント間未実現利益消去37百万円が含まれております。
- 4 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。